

位置情報サービス、展開の現場から

伊藤 映

富士通株式会社

昨今、GPS 付スマートフォンやビーコン（BLE）など、位置情報を検出する手段の普及に伴い、位置情報を利用したサービスが注目を寄せている。一部は商用化され、さらに新しいサービスの提供に向けて様々な研究開発が進められている。しかし、位置情報サービスは人々の住む社会に受け込まない限り有用なものでなく、うまく融合できない場合はかえって悪と見なされてしまう。そこで、位置情報サービスを成立させるために、ICT ベンダーは現場で、技術以外のところで様々な課題と戦っている。

本講演では、講演者の現場での実務体験をもとに、位置情報サービスへの現場の期待や導入に際しての課題についてご紹介させていただきたい。